第１９期　決　算　公　告

広島県広島市安佐南区安東一丁目1番25号
株式会社ラネット
代表取締役　下江　隆

貸　借　対　照　表

（ 2019年3月31日 現在 ）

（単位：千円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	110,933	流動負債	19,748
現金及び預金	7,280	買掛金	2,712
売掛金	1,727	未払法人税等	1,193
他店商品券	22	未払費用	13,743
未収入金	1,036	未払消費税	1,112
関係会社売掛金	9	預り金	698
商品	18,139	短期未払金	265
前払費用	1,586	関係会社短期債務	21
関係会社短期貸付金	81,132		
繰延税金資産	－		
		固定負債	－
固定資産	5,180		
（有形固定資産）	4,895		
建物付属設備	44,190	負債合計	19,748
車両運搬具	452	純資産の部	
工具器具備品	28,134	株主資本	96,580
減価償却累計	△ 67,881	資本金	30,000
		利益剰余金	66,580
（投資その他の資産）	285	利益準備金	3,362
長期繰延税金資産	66	その他利益剰余金	63,218
その他投資	219	繰越利益剰余金	63,218
繰延資産	215		
繰延資産	215		
		純資産合計	96,580
資産合計	116,329	負債及び純資産合計	116,329

個　別　注　記　表

2018 年 4 月　1 日から
2019 年 3 月 31 日まで

Ⅰ　重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

・たな卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入法による原価法を採用しております。なお、書籍については、売価還元法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

・有形固定資産（リース資産を除く）

法人税法の規定による定率法（ただし、1998 年 4 月 1 日以降取得した建物（建物附属設備を除く）及び 2016 年 4 月 1 日以降取得の建物附属設備、構築物については定額法を採用しております。

3. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

(2) 繰延資産の処理方法

繰延資産については、５年による均等額償却を行っております。

Ⅱ　表示方法の変更

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第 28 号　平成 30 年 2 月 16 日）に伴う、「会社法施行規則及び会計計算規則の一部を改正する省令」（法務省令第 5 号　平成 30 年 3 月 26 日を当事業年度から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しました。

この結果、前事業年度において「流動資産」に区分しておりました「繰延税金資産」（前事業年度 37,646 円）は、当事業年度においては、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」66,358 円に含めて表示しております。

Ⅲ　貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額　　６７，８８１千円

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

Ⅳ　当期純損益金額

当期純利益の金額　　６，０６３千円

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。